

**広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略  
及び人口ビジョン策定のための  
アンケート調査結果報告書**

**転入・転出者アンケート結果抜粋**

平成 27 年 9 月  
広陵町



# 目 次

<b>I. 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査目的 .....	1
2 実施要領 .....	1
3 報告書の見方 .....	1
<b>II. 調査結果</b> .....	<b>3</b>
<b>II-1. 一般町民向けアンケート</b> .....	<b>3</b>
回答者の属性 .....	3
1 まちへの愛着度や定住意向などについて.....	16
2 まちの現状に対する満足度および今後の取り組みの重要度について.....	22
3 結婚について .....	39
4 出産や子育てについて .....	51
5 人口減少・少子化対策について.....	58
<b>II-2. 転出者向けアンケート</b> .....	<b>67</b>
<b>II-3. 転入者向けアンケート</b> .....	<b>83</b>
<b>参考資料</b> .....	<b>99</b>
調査票 .....	99



# I. 調査の概要

## 1 調査目的

本調査は、「広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略及び人口ビジョン」の策定にあたり、町民や、転入・転出者の意識や意向を把握し、今後の方向性を検討するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

## 2 実施要領

	種類	調査対象	対象者数	回収数	回収率
調査対象と回収結果	一般町民	18歳以上の町民	2,000人 (無作為抽出)	985件	49.3%
	転出者	最近1年間で町から転出された方	250人 (無作為抽出)	85件	34.0%
	転入者	最近1年間で町へ転入された方	250人 (無作為抽出)	98件	39.2%
調査期間	平成27年7月29日～8月11日				
調査方法	郵送配布・郵送回収				

## 3 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。

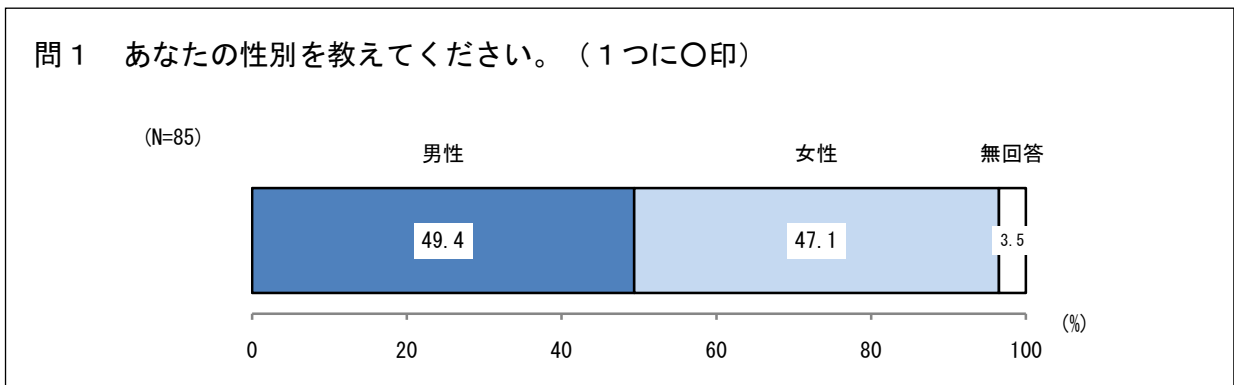
複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

図表等の「N (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。各設問の図表上の「MA%」「3LA%」等の表記は、回答選択肢の中からあてはまるものを複数選択する場合（すべてに○、3つまで○等）を示しています。これ以外の場合は、特に断りがない限り、単一回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問です。

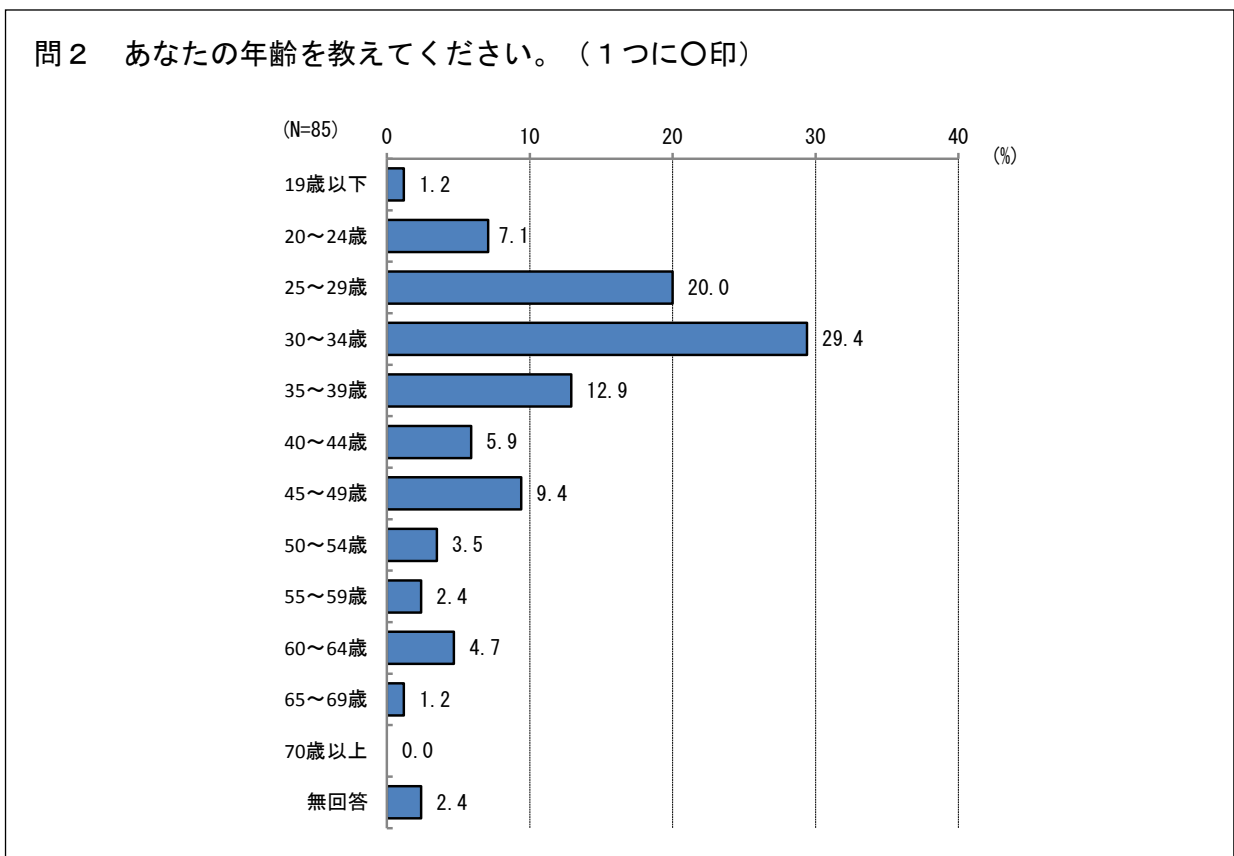
## Ⅱ－２． 転出者向けアンケート

### 〔１〕 性別



回答者の性別は、「男性」が 49.4%、「女性」が 47.1%となっている。

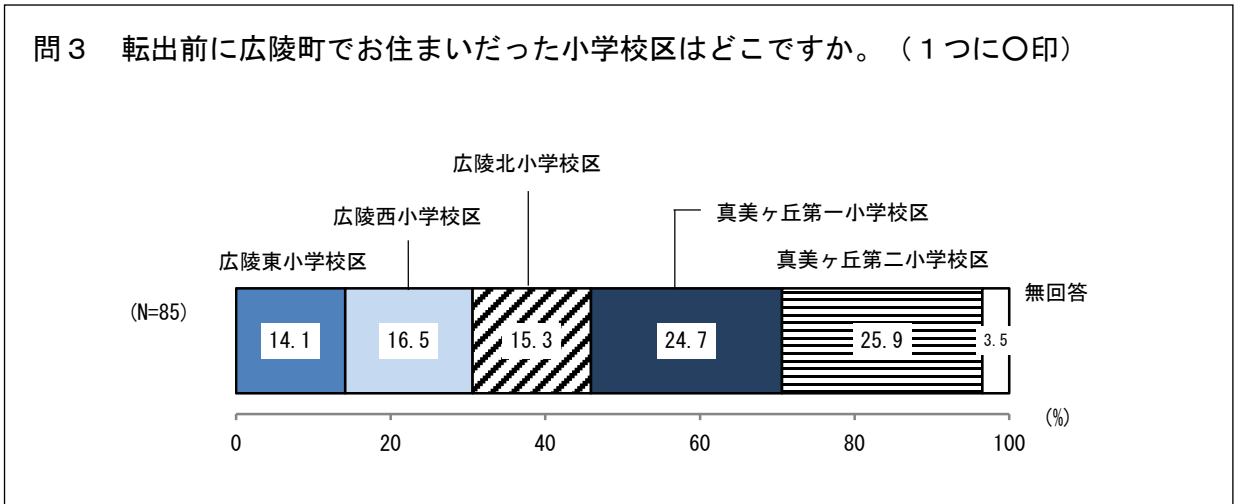
### 〔２〕 年齢



回答者の年齢は、「30～34歳」が 29.4%と最も多く、次いで、「25～29歳」が 20.0%、「35～39歳」が 12.9%、「45～49歳」が 9.4%、「20～24歳」が 7.1%となっている。

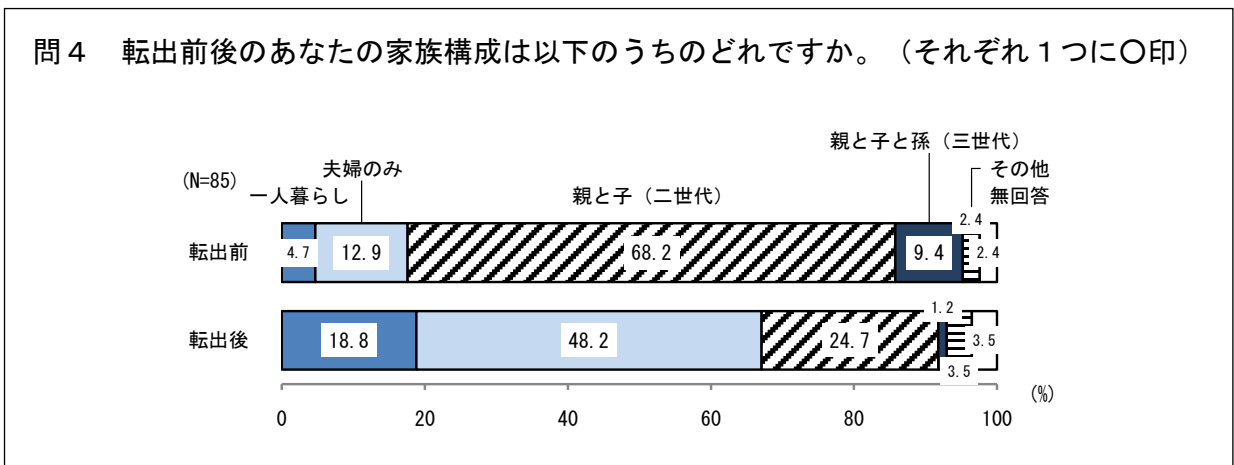
Ⅱ－２．転出者向けアンケート

〔３〕 転出前の居住地



転出前の広陵町での小学校区は、「真美ヶ丘第二小学校区」が 25.9%と最も多く、次いで、「真美ヶ丘第一小学校区」が 24.7%、「広陵西小学校区」が 16.5%、「広陵北小学校区」が 15.3%、「広陵東小学校区」が 14.1%となっている。

〔４〕 家族構成

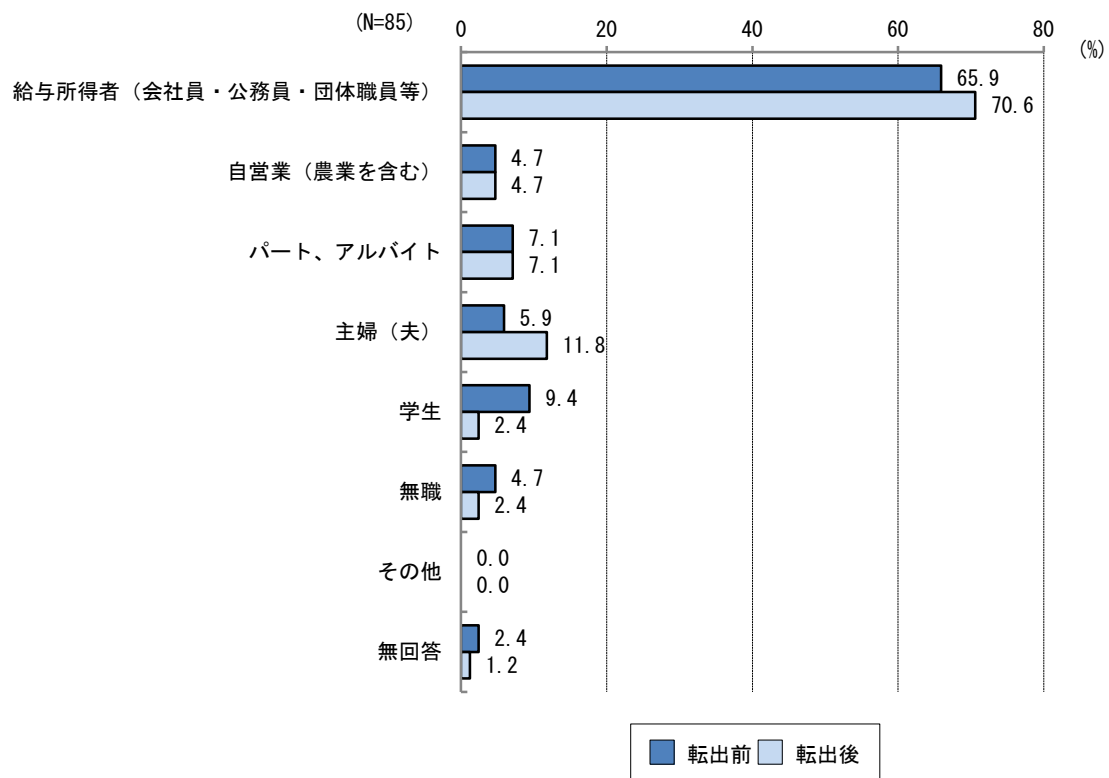


転出前の家族構成は、「親と子 (二世帯)」が 68.2%と最も多く、次いで、「夫婦のみ」が 12.9%、「親と子と孫 (三世帯)」が 9.4%、「一人暮らし」が 4.7%となっている。  
 転出後の家族構成は、「夫婦のみ」が 48.2%と最も多く、次いで、「親と子 (二世帯)」が 24.7%、「一人暮らし」が 18.8%、「親と子と孫 (三世帯)」が 1.2%となっている。  
 転出前後を比較すると、「親と子 (二世帯)」が 43.5 ポイント減少し、「夫婦のみ」が 35.3 ポイント増加している。

〔５〕 転出前・転出後の就業状況

問５ 転出前（広陵町）のあなたのおつとめの状況を教えてください。（１つに○印）

問５－２ 転出後（現在）のあなたのおつとめの状況を教えてください。（１つに○印）



転出前の就業状況は、「給与所得者（会社員・公務員・団体職員等）」が 65.9%と最も多く、次いで、「学生」が 9.4%、「パート、アルバイト」が 7.1%、「主婦（夫）」が 5.9%となっている。

転出後の就業状況は、「給与所得者（会社員・公務員・団体職員等）」が 70.6%と最も多く、次いで、「主婦（夫）」が 11.8%、「パート、アルバイト」が 7.1%となっている。

転出前後を比較すると、「給与所得者（会社員・公務員・団体職員等）」が 4.7ポイント、「主婦（夫）」が 5.9ポイント共に増加し、「学生」が 7.0ポイント減少している。



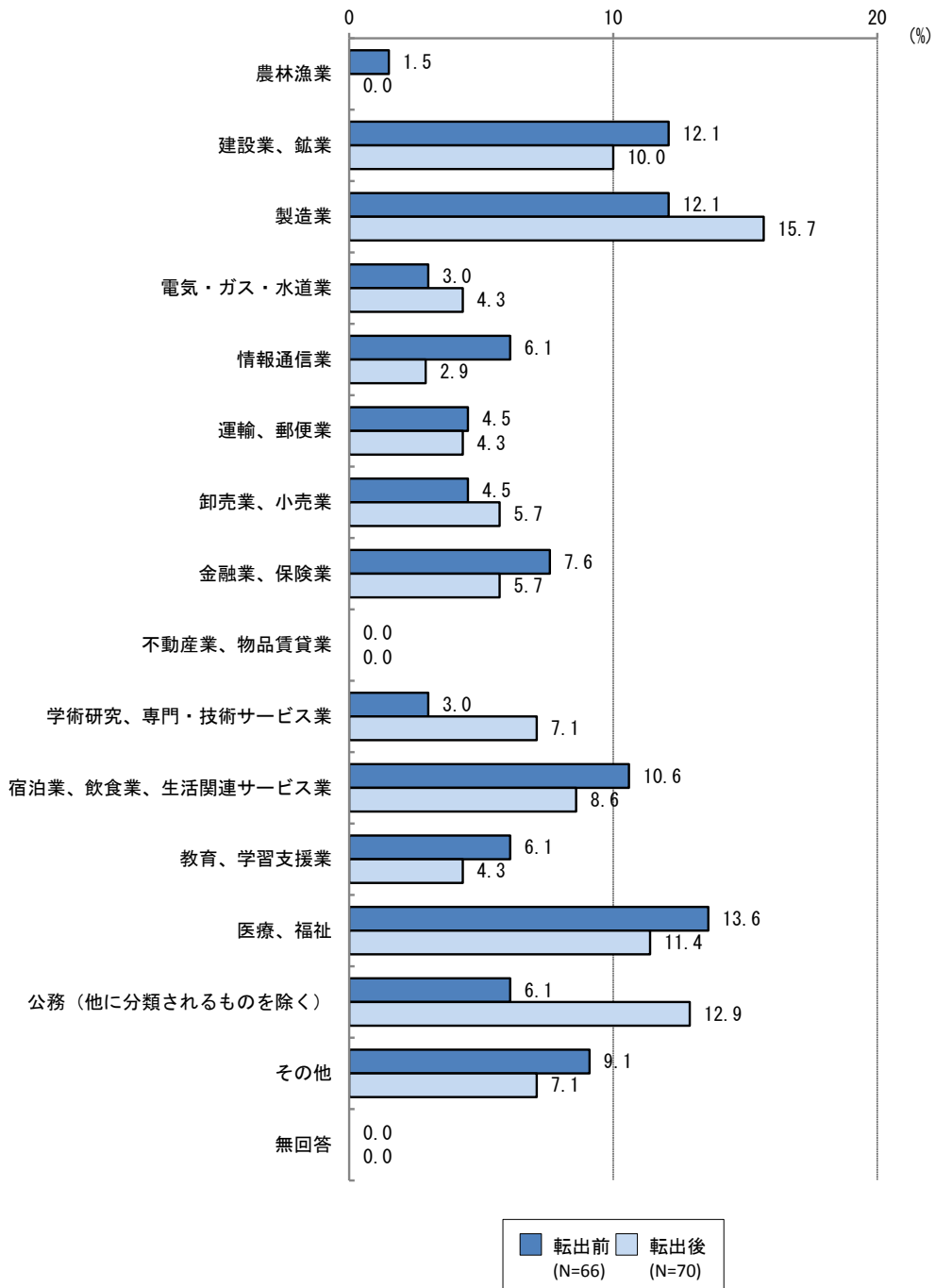
〔６〕 転出前・転出後の仕事の業種

《問５で「１～３」を選択された方のみ》

問５－１ 転出前（広陵町）のあなたのお仕事の業種は何ですか。（１つに○印）

《問５－２で「１～３」を選択された方のみ》

問５－３ 転出後（現在）のあなたのお仕事の業種は何ですか。（１つに○印）



転出前の仕事の業種は、「医療、福祉」が13.6%と最も多く、次いで、「建設業、鉱業」、「製造業」が共に12.1%、「宿泊業、飲食業、生活関連サービス業」が10.6%、となっている。

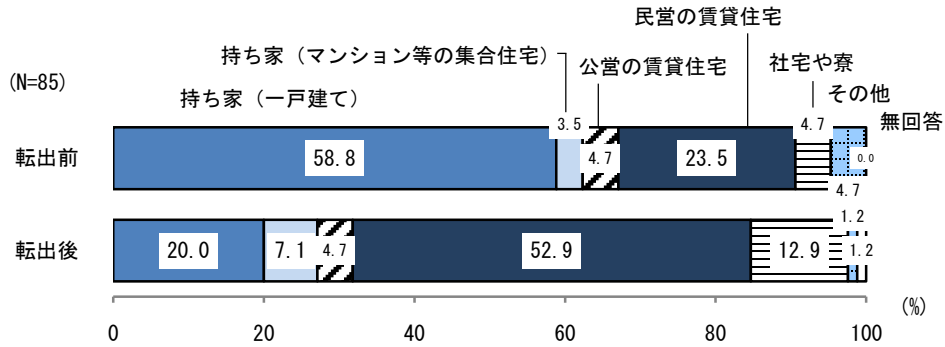
転出後の仕事の業種は、「製造業」が15.7%と最も多く、次いで、「公務（他に分類されるものを除く）」が12.9%、「医療、福祉」が11.4%、「建設業、鉱業」が10.0%、「宿泊業、飲食業、生活関連サービス業」が8.6%となっている。

転出前後を比較すると、「学術研究、専門・技術サービス業」が4.1ポイント、「公務（他に分類されるものを除く）」が6.8ポイント増加している。

Ⅱ－２．転出者向けアンケート

〔 7 〕 住宅の種類

問 6 転出前後のあなたのお住まいの住宅の種類を教えてください。  
(それぞれ1つに○印)



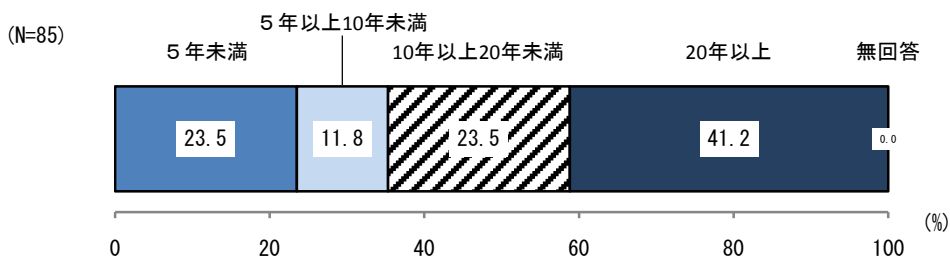
転出前の住宅の種類は、「持ち家（一戸建て）」が 58.8%と最も多く、次いで、「民営の賃貸住宅」が 23.5%となっている。

転出後の住宅の種類は、「民営の賃貸住宅」が 52.9%と最も多く、次いで、「持ち家（一戸建て）」が 20.0%、「社宅や寮」が 12.9%となっている。

転出前後を比較すると、「持ち家（一戸建て）」が 38.8 ポイント減少し、「民営の賃貸住宅」が 29.4 ポイント増加している。

〔 8 〕 居住年数

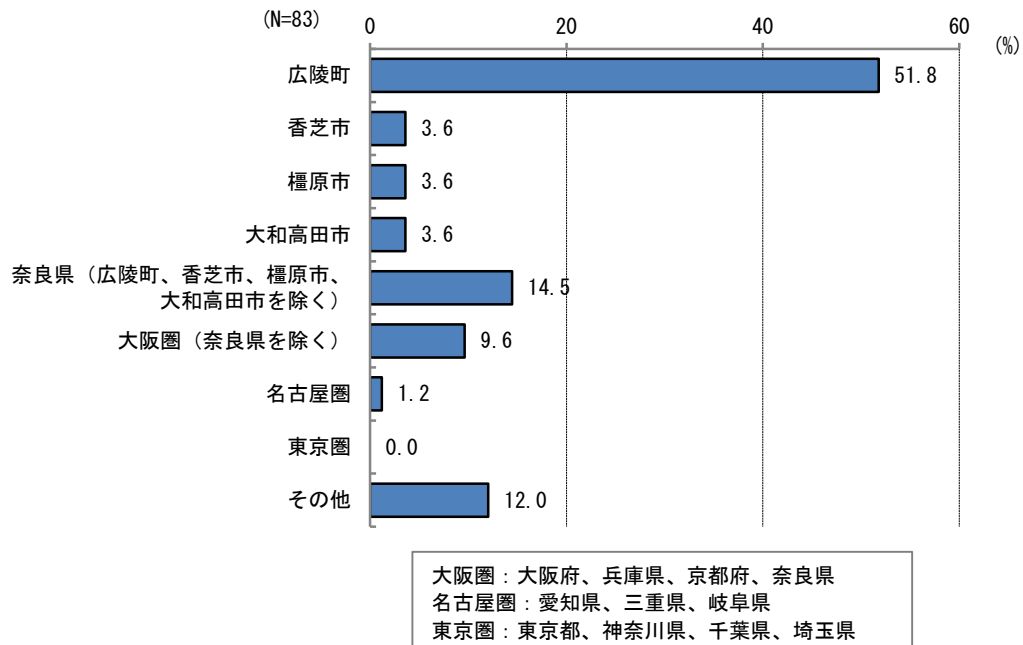
問 7 あなたは転出前に、広陵町に何年間、お住まいになりましたか。（1つに○印）



転出前の居住年数は、「20 年以上」が 41.2%と最も多く、次いで、「5 年未満」、「10 年以上 20 年未満」が共に 23.5%、「5 年以上 10 年未満」が 11.8%となっている。

〔9〕出身地

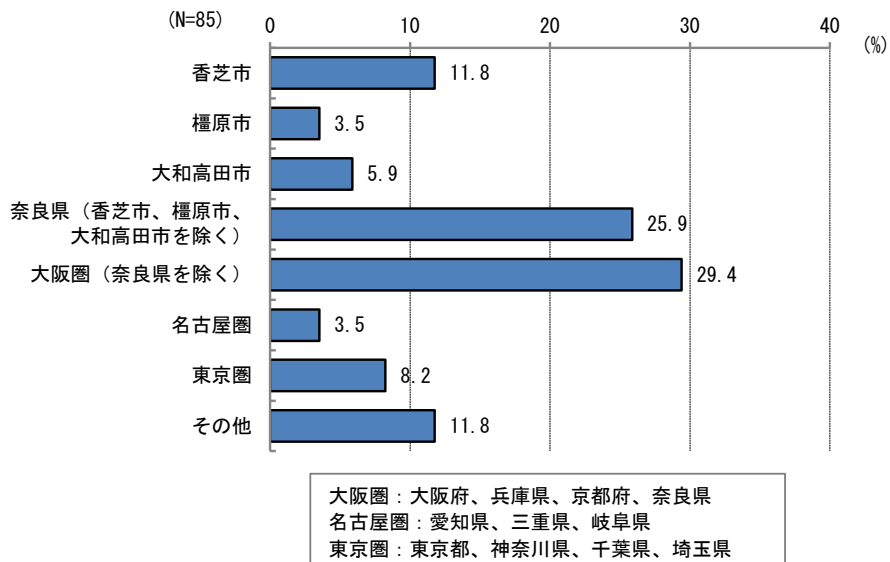
問8 あなたの出身地（または主にあなたが育ったところ）はどちらですか。下の欄に都道府県名と市区町村名をご記入ください。※自由記述回答



出身地は、「広陵町」が51.8%と最も多く、次いで、「奈良県（広陵町・香芝市・橿原市・大和高田市を除く）」が14.5%となっている。

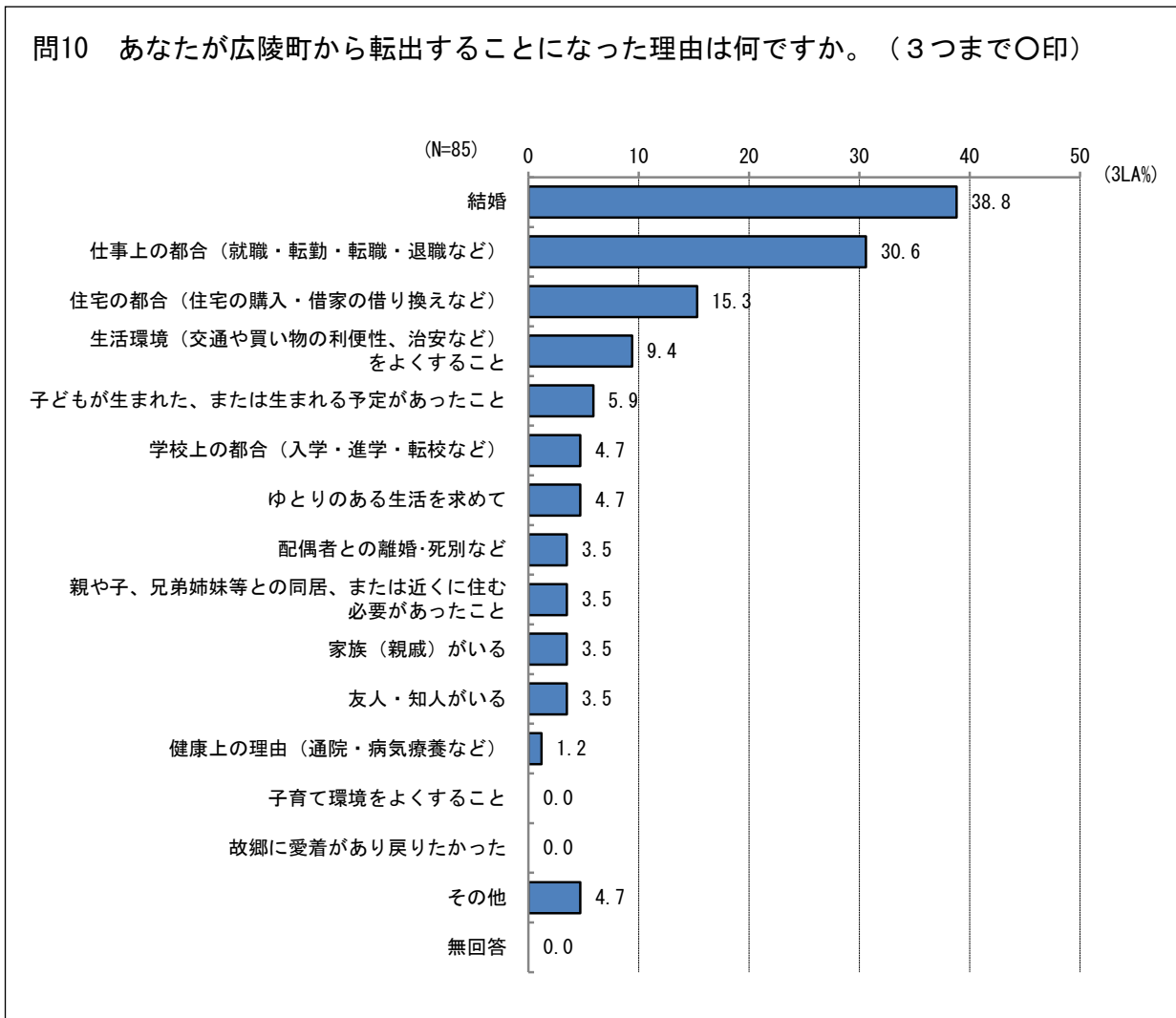
〔10〕現在の住所

問9 現在の住所（現住地）はどちらですか。下の欄に都道府県名と市区町村名をご記入ください。※自由記述回答



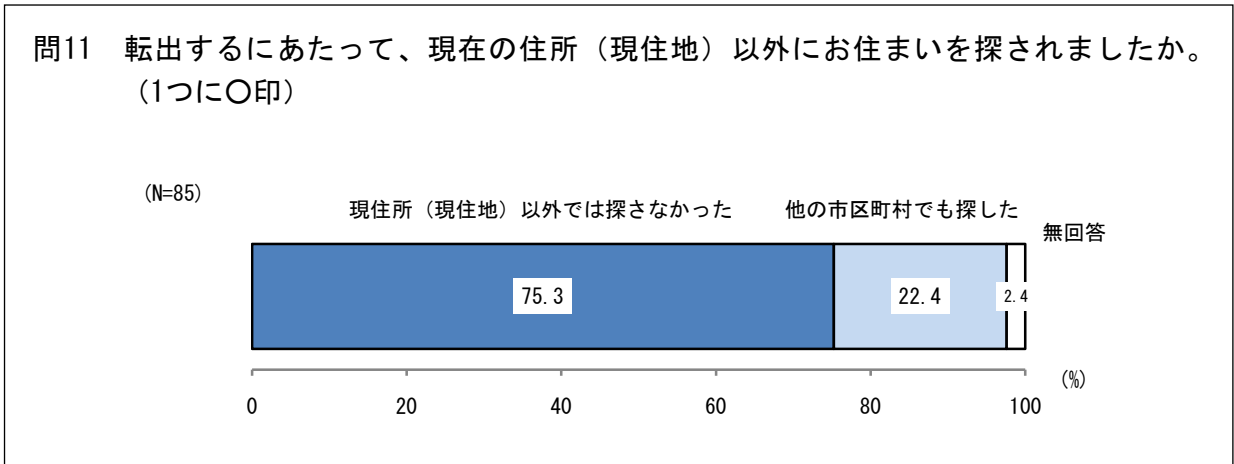
現在の住所（現住地）は、「大阪圏（奈良県を除く）」が 29.4%と最も多く、次いで、「奈良県（香芝市・橿原市・大和高田市を除く）」が 25.9%となっている。

〔11〕 転出の理由



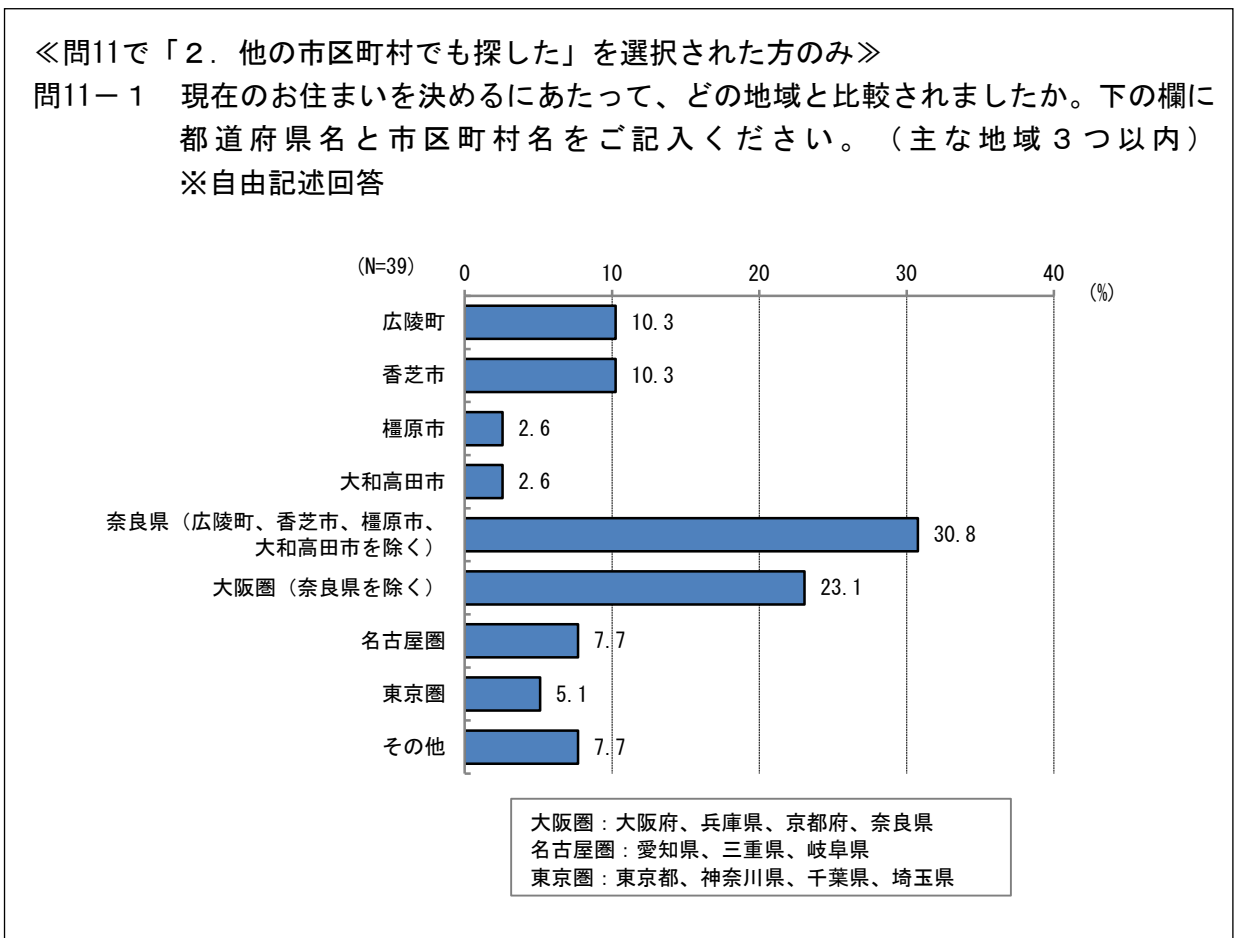
転出の理由は、「結婚」が38.8%と最も多く、次いで、「仕事上の都合（就職・転勤・転職・退職など）」が30.6%、「住宅の都合（住宅の購入・借家の借り換えなど）」が15.3%、「生活環境（交通や買い物の利便性、治安など）をよくすること」が9.4%、「子どもが生まれた、または生まれる予定があったこと」が5.9%となっている。

[12] 転出にあたって、現在の住所（現住地）以外に住まいを探したか



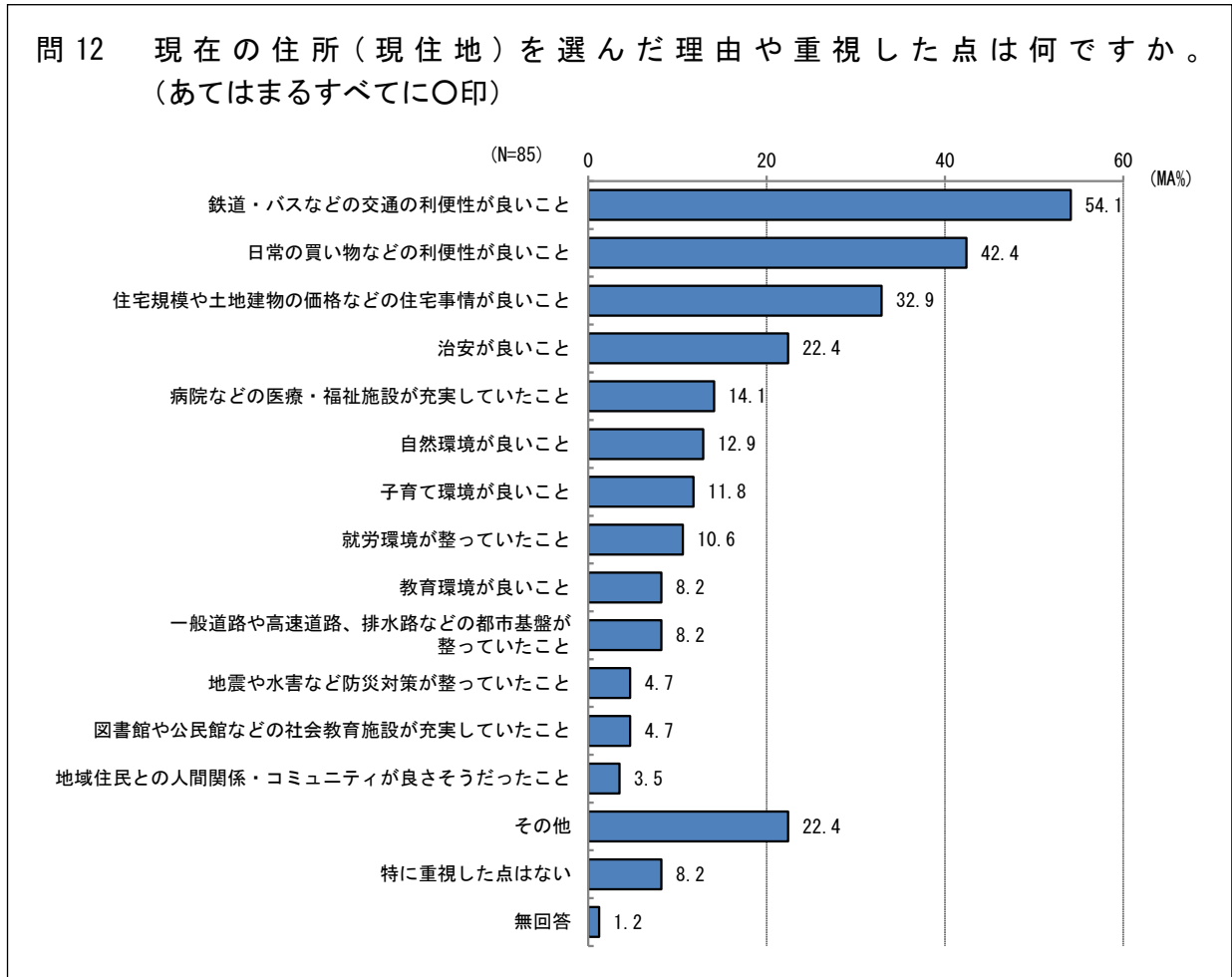
転出するにあたって、現在の住所（現住地）以外に住まいを探したかは、「現住所（現住地）以外では探さなかった」が75.3%、「他の市区町村でも探した」が22.4%となっている。

[13] 比較した地域



転出するにあたって、現在の住所（現住地）以外に住まいを探したと回答された方に、どの地域と比較したかを尋ねたところ、「奈良県（広陵町・香芝市・橿原市・大和高田市を除く）」が30.8%と最も多く、次いで、「大阪圏（奈良県を除く）」が23.1%となっている。

〔14〕現在の住所を選んだ理由

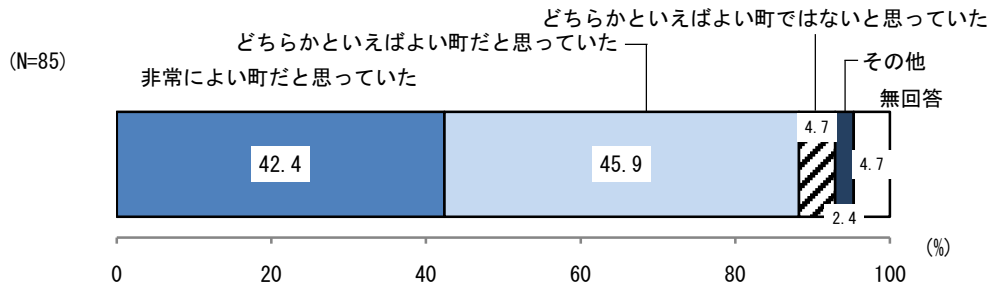


現在の住所（現住地）を選んだ理由や重視した点は、「鉄道・バスなどの交通の利便性が良いこと」が54.1%と最も多く、次いで、「日常の買い物などの利便性が良いこと」が42.4%、「住宅規模や土地建物の価格などの住宅事情が良いこと」が32.9%、「治安が良いこと」、「その他」がそれぞれ22.4%、「病院などの医療・福祉施設が充実していたこと」が14.1%となっている。



〔15〕 広陵町在住時の気持ち

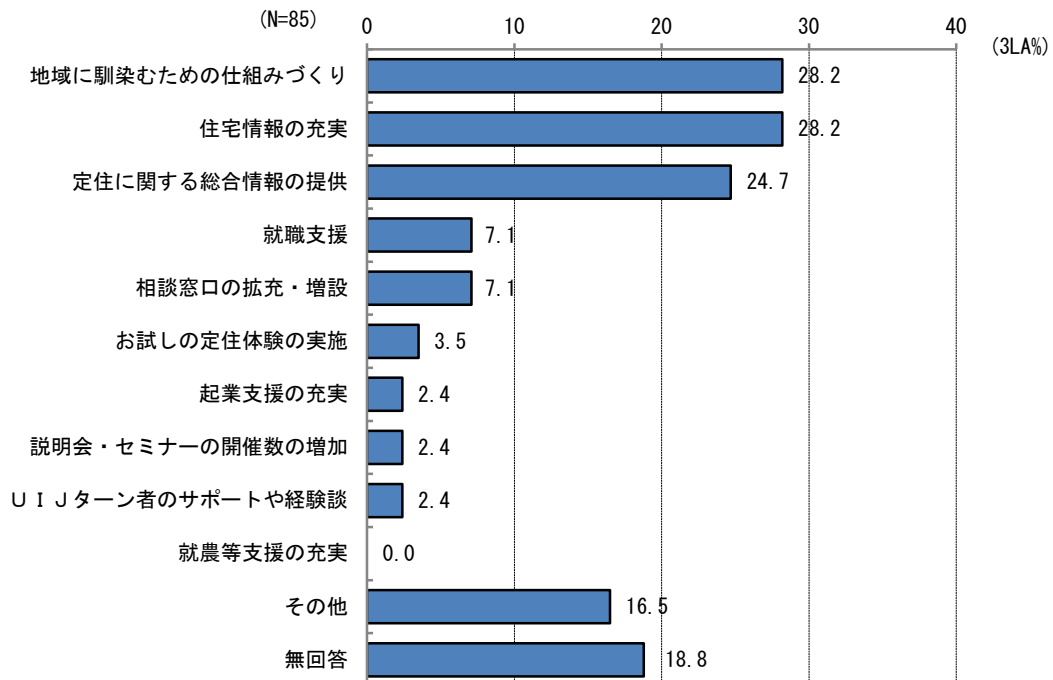
問13 広陵町にお住まいになっていた時のあなたのお気持ちをお聞かせください。  
(1つに○印)



広陵町在住時の気持ちは、「非常にいい町だと思っていた」が42.4%、「どちらかといえばいい町だと思っていた」が45.9%、「どちらかといえばいい町ではないと思っていた」が4.7%、「その他」が2.4%となっている。

〔16〕 転出する際に必要だったと思うサポート

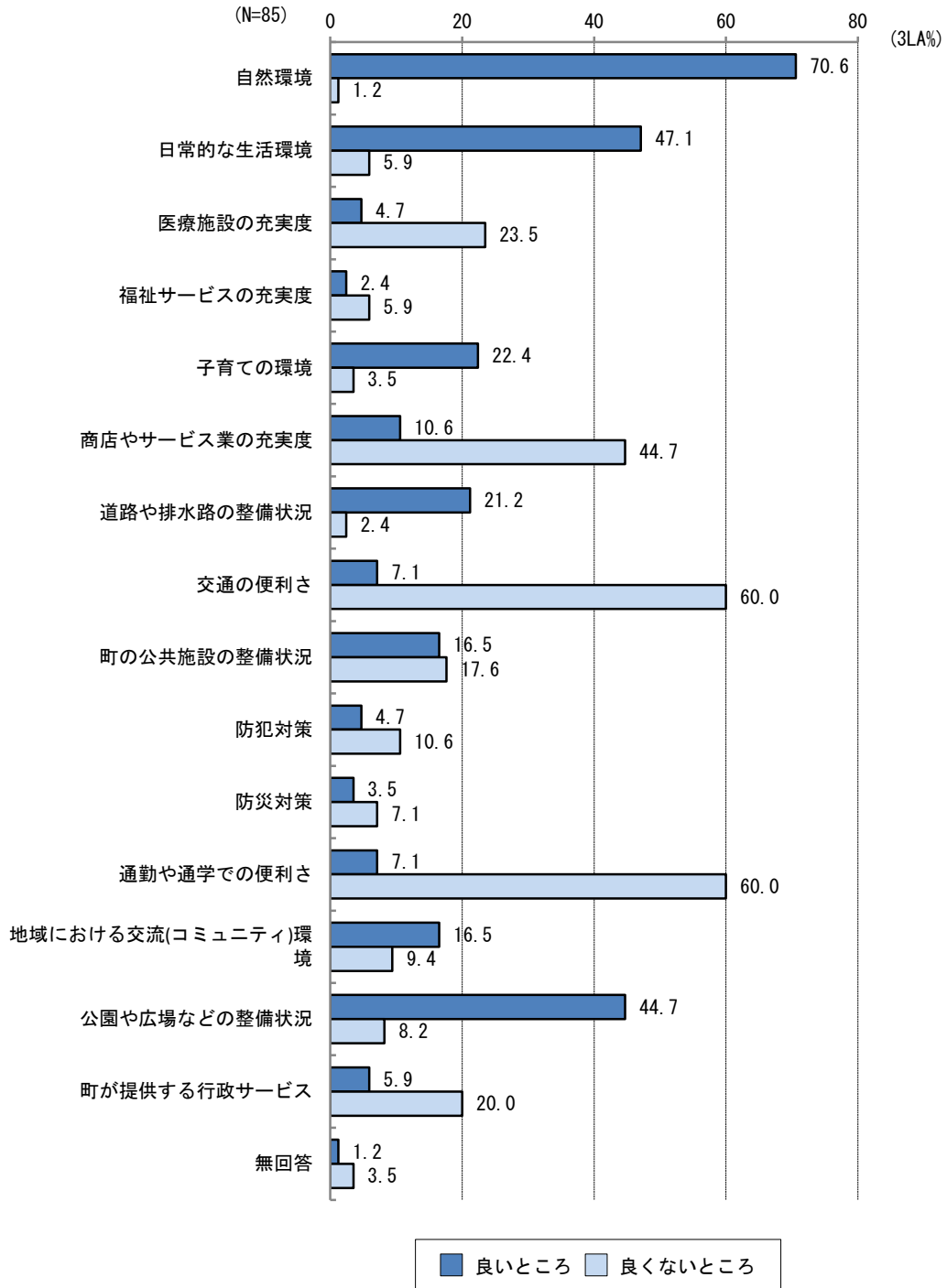
問14 あなたが広陵町から転出するにあたり、転出先でどのようなサポートが必要だったと思いますか。（3つまで○印）



転出するにあたり、転出先でどのようなサポートが必要だったと思うかは、「地域に馴染むための仕組みづくり」、「住宅情報の充実」が共に 28.2%と最も多く、次いで、「定住に関する総合情報の提供」が 24.7%となっている。

〔17〕 広陵町の良いところ、良くないところ

問15 あなたが思う、広陵町の良いところ、良くないところを、それぞれ3つ選んで、下の回答欄に番号を記入してください。



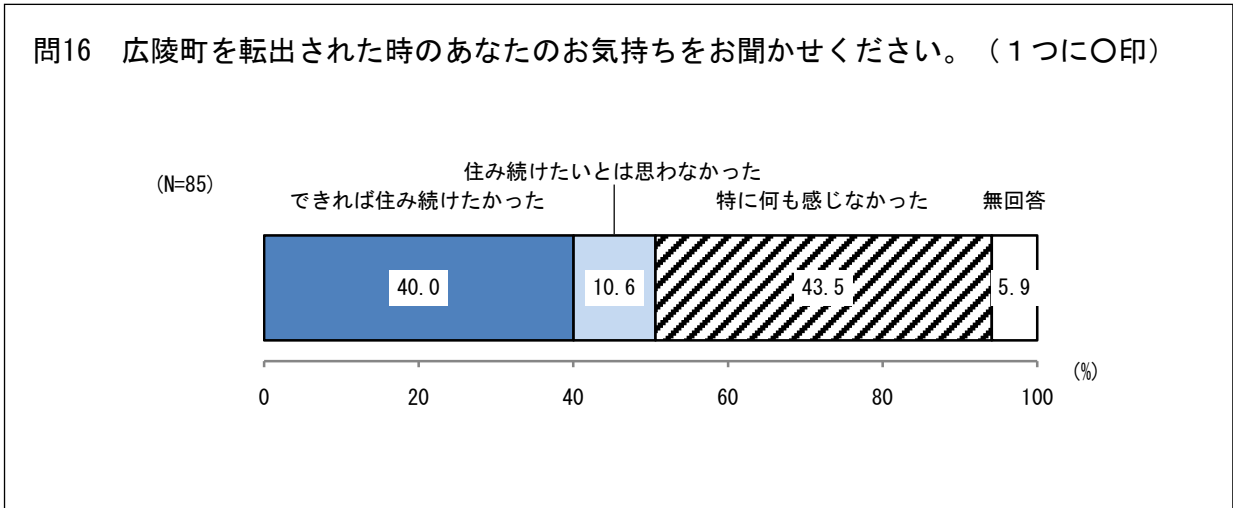
広陵町の良いところは、「自然環境」が70.6%と最も多く、次いで、「日常的な生活環境」が47.1%、「公園や広場などの整備状況」が44.7%、「子育ての環境」が22.4%、「道路や排水路の整備状況」が21.2%となっている。

広陵町の良くないところは、「交通の便利さ」、「通勤や通学での便利さ」が共に60.0%と最も多く、次いで、「商店やサービス業の充実度」が44.7%、「医療施設の充実度」が23.5%、「町が提供する行政サービス」が20.0%、「町の公共施設の整備状況」が17.6%となっている。

良いところと良くないところを比較すると、良いところは、「自然環境」(69.4ポイント差)、「日常的な生活環境」(41.2ポイント差)、「公園や広場などの整備状況」(36.5ポイント差)の割合が多く、良くないところは、「交通の便利さ」(52.9ポイント差)、「通勤や通学での便利さ」(52.9ポイント差)、「商店やサービス業の充実度」(34.1ポイント差)の割合が多くなっている。

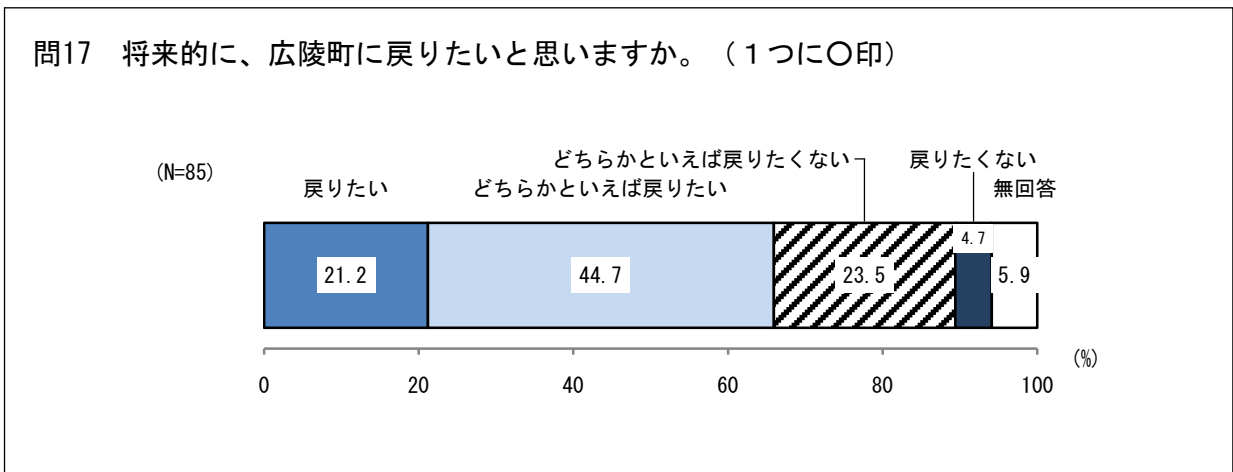
## Ⅱ-2. 転出者向けアンケート

### 〔18〕 転出した時の気持ち



転出した時の気持ちは、「できれば住み続けたかった」が40.0%、「住み続けたいとは思わなかった」が10.6%、「特に何も感じなかった」が43.5%となっている。

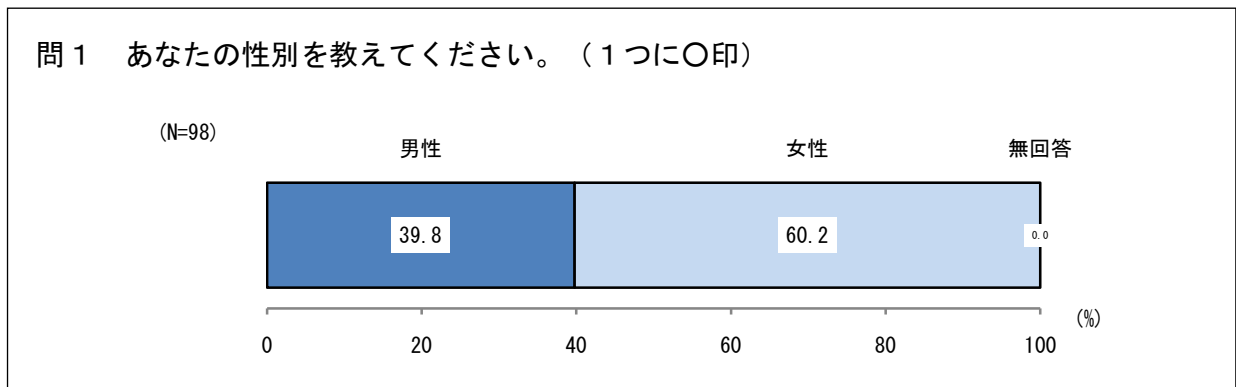
### 〔19〕 将来、広陵町に戻りたいか



将来、広陵町に戻りたいかは、「戻りたい」と「どちらかといえば戻りたい」を合わせた『戻りたい』が65.9%、「戻りたくない」と「どちらかといえば戻りたくない」を合わせた『戻りたくない』が28.2%となっている。

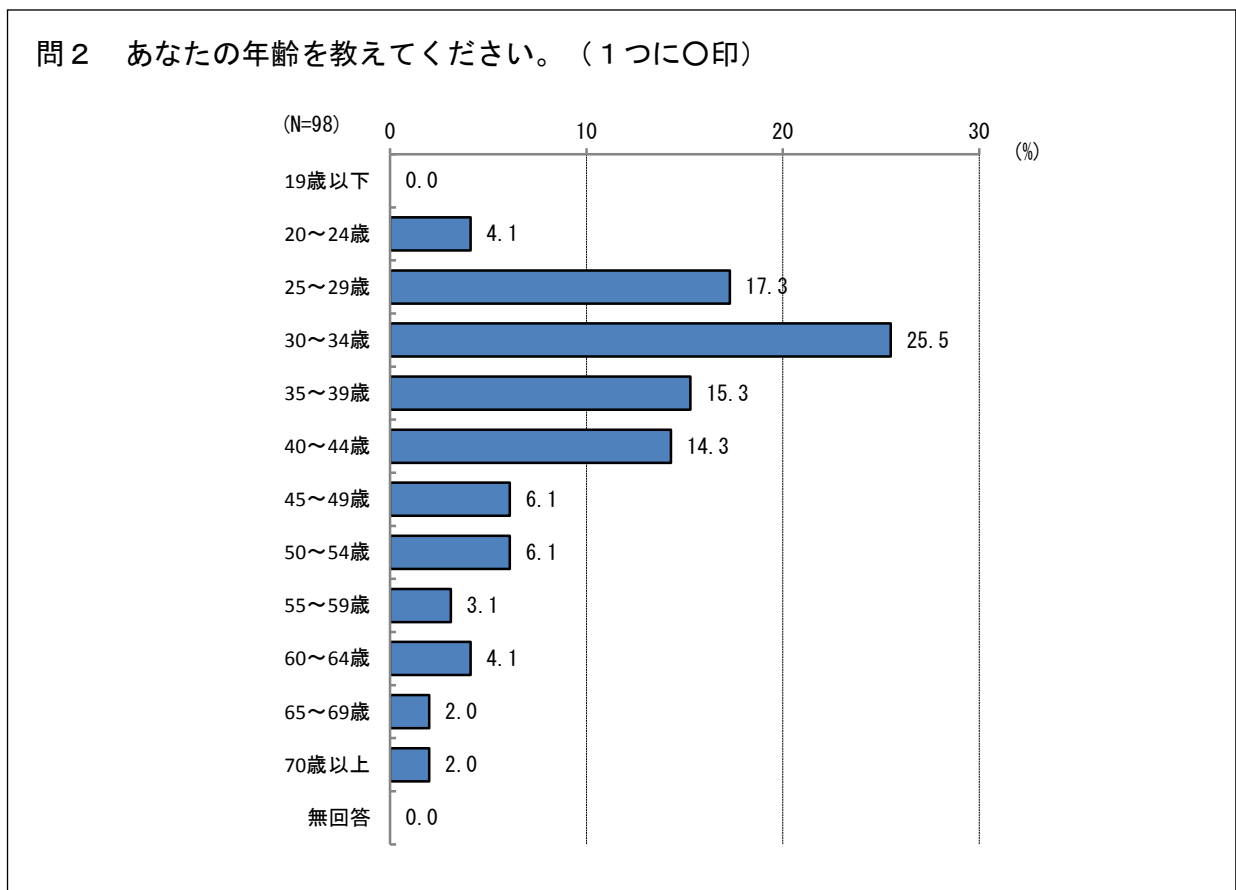
## Ⅱ－３．転入者向けアンケート

### 〔１〕性別



回答者の性別は、「男性」が 39.8%、「女性」が 60.2%となっている。

### 〔２〕年齢

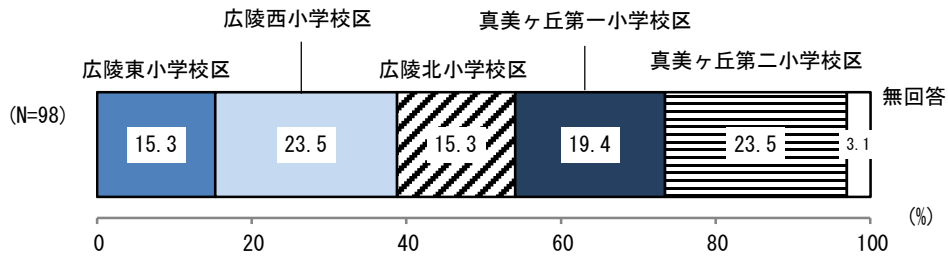


回答者の年齢は、「30～34歳」が 25.5%と最も多く、次いで、「25～29歳」が 17.3%、「35～39歳」が 15.3%、「40～44歳」が 14.3%、「45～49歳」、「50～54歳」が共に 6.1%となっている。

## II-3. 転入者向けアンケート

### 〔3〕 居住地域

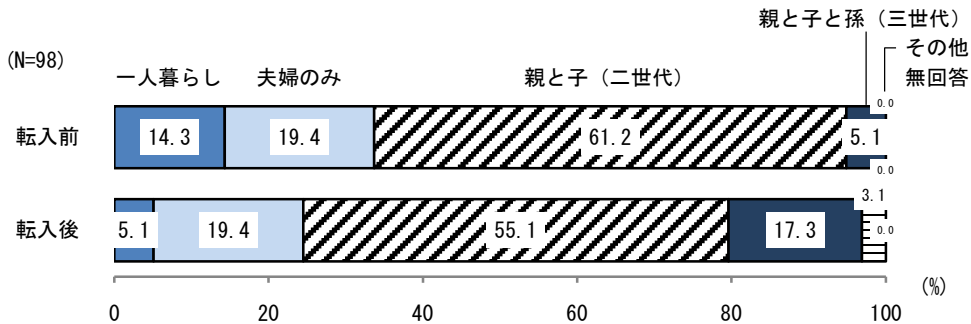
問3 お住まいの小学校区はどこですか。（1つに○印）



転入後に住んでいる小学校区は、「広陵西小学校区」、「真美ヶ丘第二小学校区」がそれぞれ23.5%と最も多く、次いで、「真美ヶ丘第一小学校区」が19.4%、「広陵東小学校区」、「広陵北小学校区」が共に15.3%となっている。

### 〔4〕 家族構成

問4 転入前後のあなたの家族構成は以下のうちのどれですか。（それぞれ1つに○印）

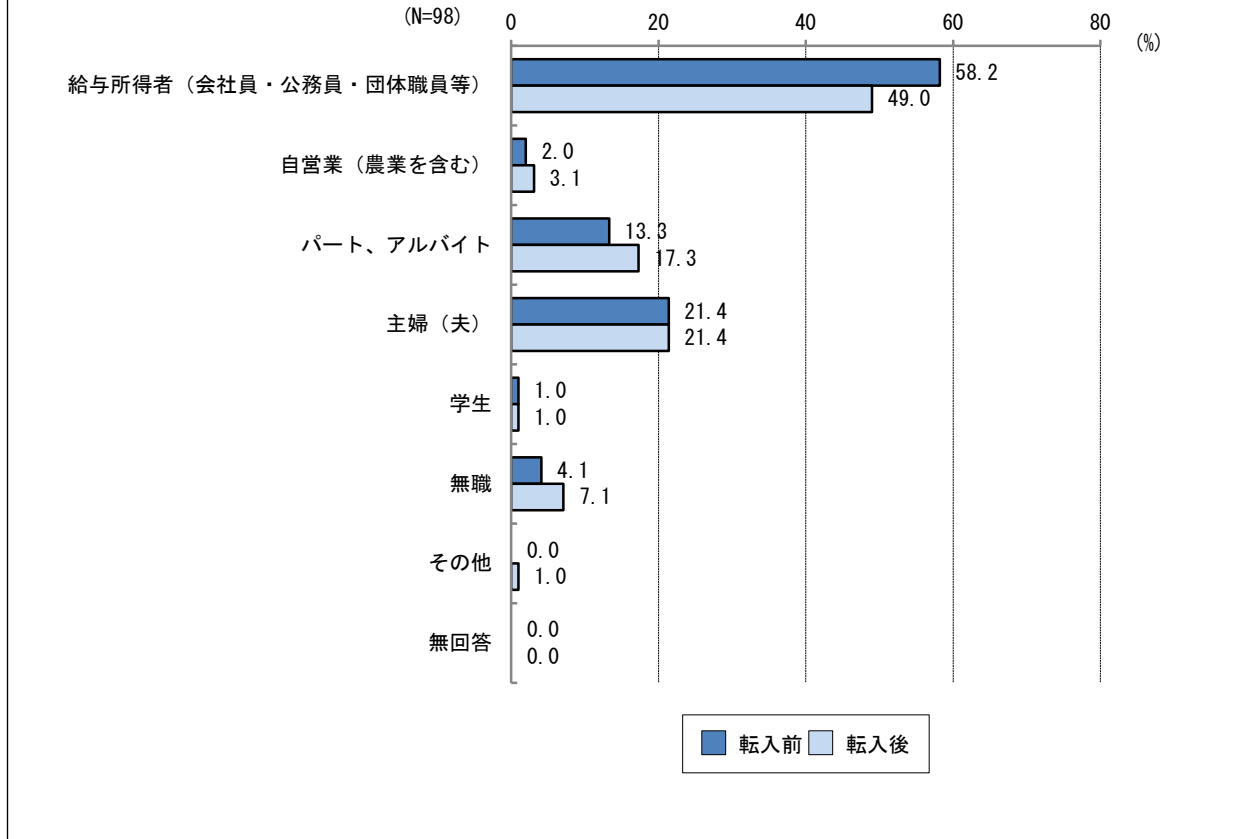


転入前の家族構成は、「親と子 (二世帯)」が61.2%と最も多く、次いで、「夫婦のみ」が19.4%、「一人暮らし」が14.3%、「親と子と孫 (三世帯)」が5.1%となっている。  
 転入後の家族構成は、「親と子 (二世帯)」が55.1%と最も多く、次いで、「夫婦のみ」が19.4%、「親と子と孫 (三世帯)」が17.3%、「一人暮らし」が5.1%となっている。  
 転入前後を比較すると、「一人暮らし」が9.2ポイント、「親と子 (二世帯)」が6.1ポイント減少し、「親と子と孫 (三世帯)」が12.2ポイント増加している。

〔５〕 転入前・転入後の就業状況

問５ 転入前（以前）のあなたのおつとめの状況を教えてください。（１つに○印）

問５－２ 転入後（広陵町）のあなたのおつとめの状況を教えてください。（１つに○印）



転入前の就業状況は、「給与所得者（会社員・公務員・団体職員等）」が 58.2%と最も多く、次いで、「主婦（夫）」が 21.4%、「パート、アルバイト」が 13.3%となっている。

転入後の就業状況は、「給与所得者（会社員・公務員・団体職員等）」が 49.0%と最も多く、次いで、「主婦（夫）」が 21.4%、「パート、アルバイト」が 17.3%、「無職」が 7.1%となっている。

転入前後を比較すると、「給与所得者（会社員・公務員・団体職員等）」が 9.2 ポイント減少している。



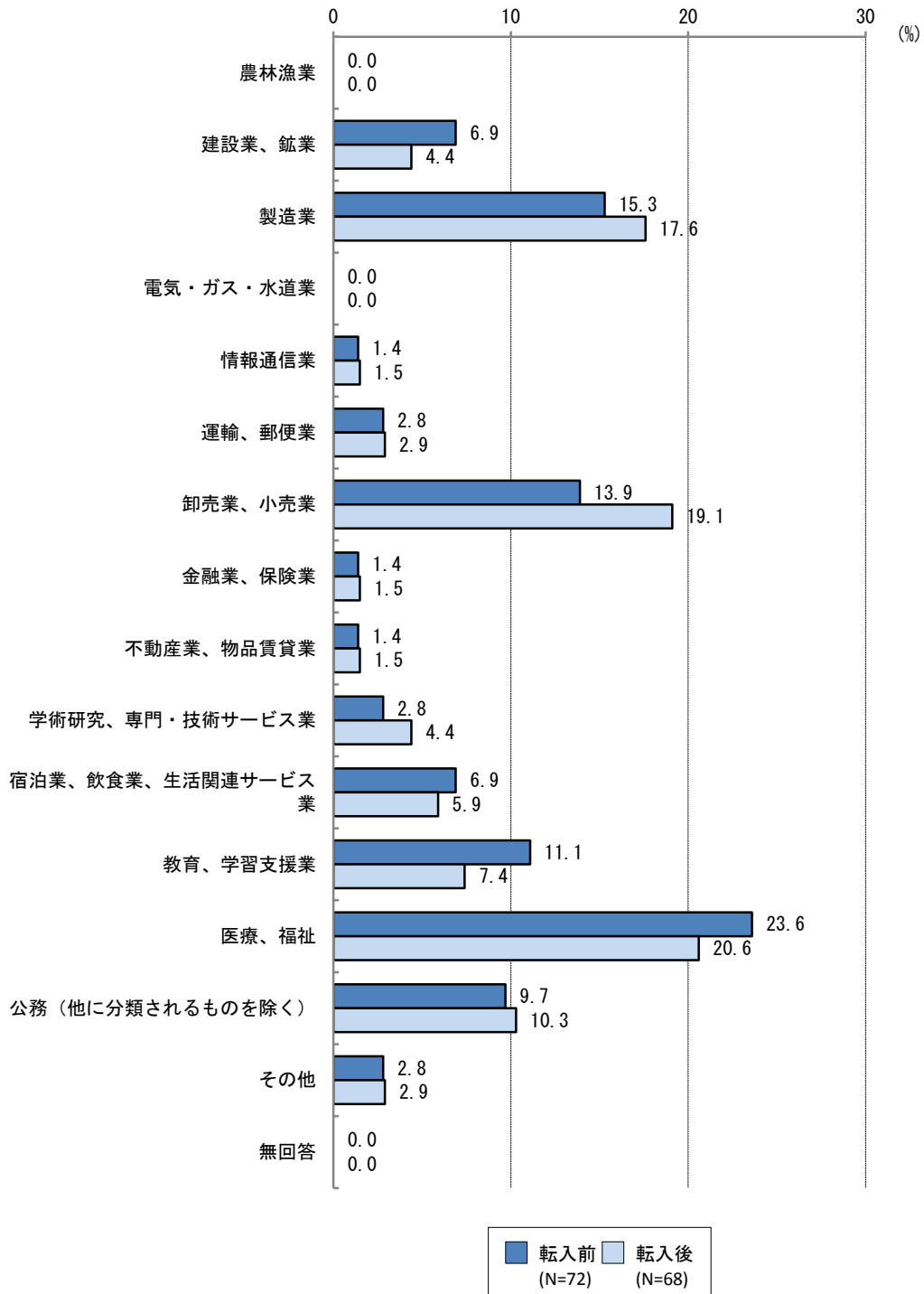
〔６〕転入前・転入後の仕事の業種

《問５で「１～３」を選択された方のみ》

問５－１ 転入前（以前）のあなたのお仕事の業種は何ですか。（１つに○印）

《問５－２で「１～３」を選択された方のみ》

問５－３ 転入後（広陵町）のあなたのお仕事の業種は何ですか。（１つに○印）



転入前の仕事の業種は、「医療、福祉」が 23.6%と最も多く、次いで、「製造業」が 15.3%、「卸売業、小売業」が 13.9%、「教育、学習支援業」が 11.1%、「公務（他に分類されるものを除く）」が 9.7%となっている。

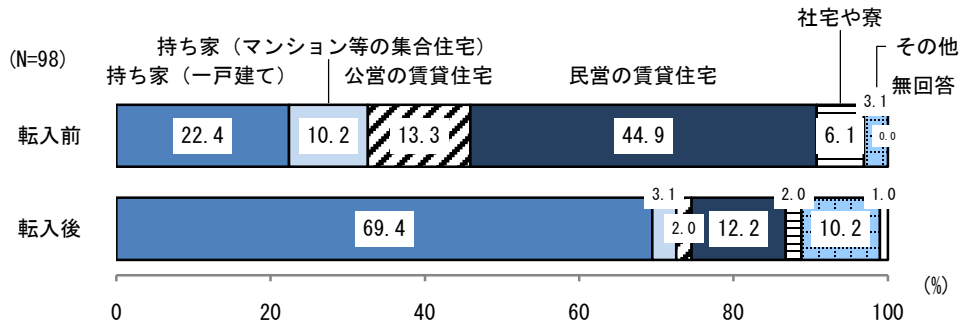
転入後の仕事の業種は、「医療、福祉」が 20.6%と最も多く、次いで、「卸売業、小売業」が 19.1%、「製造業」が 17.6%、「公務（他に分類されるものを除く）」が 10.3%、「教育、学習支援業」が 7.4%となっている。

転入前後の比較をすると、「卸売業、小売業」が 5.2 ポイント増加している。

Ⅱ－３．転入者向けアンケート

〔７〕住宅の種類

問 6 転入前後のあなたのお住まいの住宅の種類を教えてください。  
(それぞれ1つに○印)



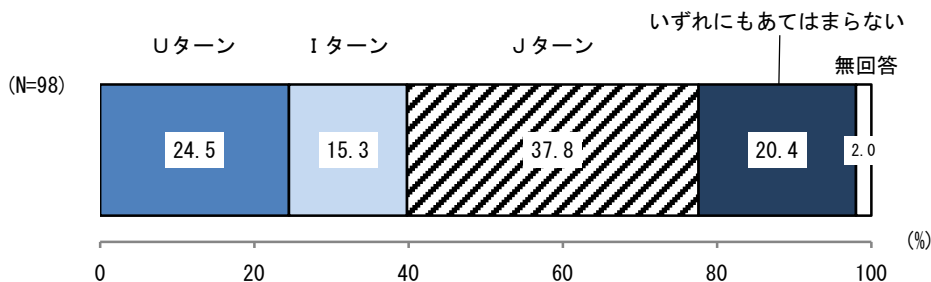
転入前の住宅の種類は、「民営の賃貸住宅」が44.9%と最も多く、次いで、「持ち家（一戸建て）」が22.4%、「公営の賃貸住宅」が13.3%、「持ち家（マンション等の集合住宅）」が10.2%となっている。

転入後の住宅の種類は、「持ち家（一戸建て）」が69.4%と最も多く、次いで、「民営の賃貸住宅」が12.2%となっている。

転入前後の比較をすると、「持ち家（一戸建て）」が47.0ポイント増加、「民営の賃貸住宅」が32.7ポイント減少している。

〔８〕Uターン、Iターン、Jターン

問 7 あなたが広陵町に転入したことは、次のどれにあてはまりますか。（1つに○印）



※回答の補足

Uターン：（広陵町内出身で、都市部に住んでいたものの、広陵町へ移住）

Iターン：（奈良県外出身で、都市部に住んでいたものの、広陵町へ移住）

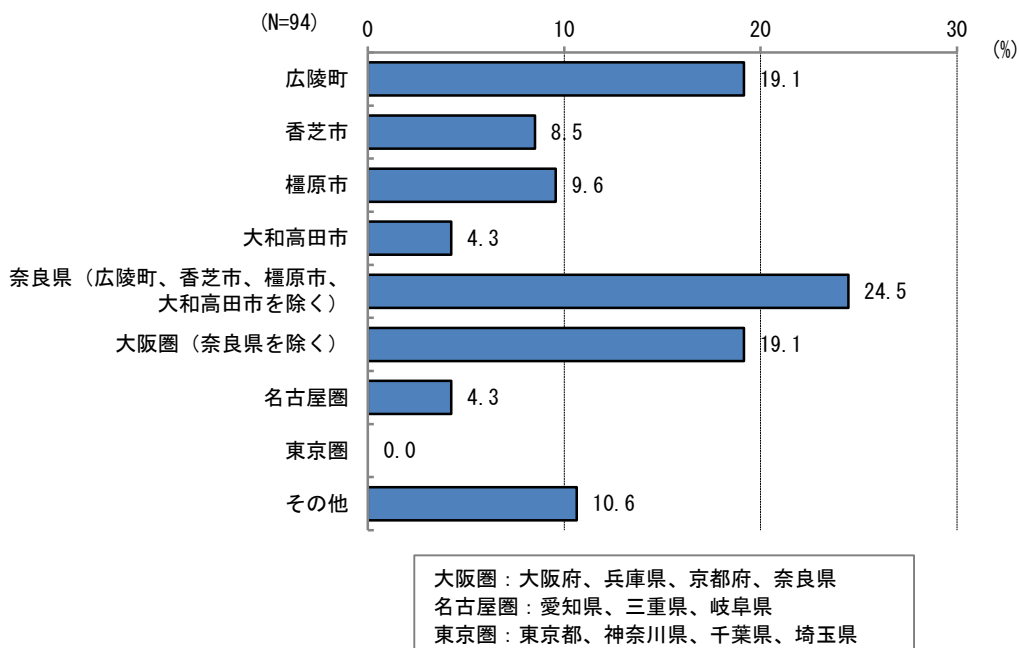
Jターン：（広陵町を除く奈良県内の市町村の出身で、都市部に住んでいたものの、広陵町へ移住）

いずれにもあてはまらない：（都市部以外からの転入、転勤や出向による一時的な広陵町在住）

広陵町への転入がUターン、Iターン、Jターンのどれにあたるかは、「Jターン（広陵町を除く奈良県内の市町村の出身で、都市部に住んでいたものの、広陵町へ移住）」が 37.8%と最も多く、次いで、「Uターン（広陵町内出身で、都市部に住んでいたものの、広陵町へ移住）」が 24.5%、「いずれにもあてはまらない（都市部以外からの転入、転勤や出向による一時的な広陵町在住）」が 20.4%、「Iターン（奈良県外出身で、都市部に住んでいたものの、広陵町へ移住）」が 15.3%となっている。

〔9〕 出身地

問8 あなたの出身地（または主にあなたが育ったところ）はどちらですか。下の欄に都道府県名と市区町村名をご記入ください。※自由記述回答

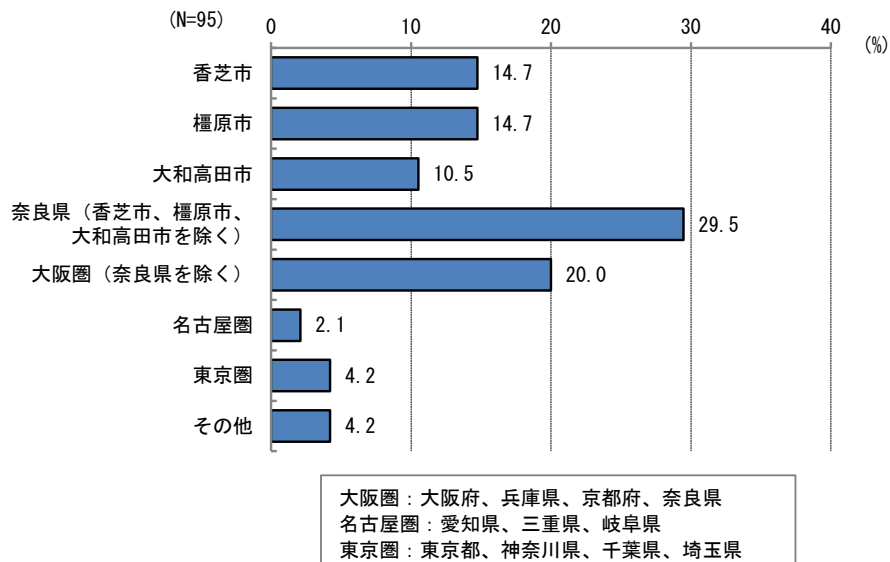


出身地は、「奈良県（香芝市・橿原市・大和高田市を除く）」が 24.5%と最も多く、次いで、「広陵町」、「大阪圏（奈良県を除く）」が共に 19.1%となっている。

## Ⅱ－３．転入者向けアンケート

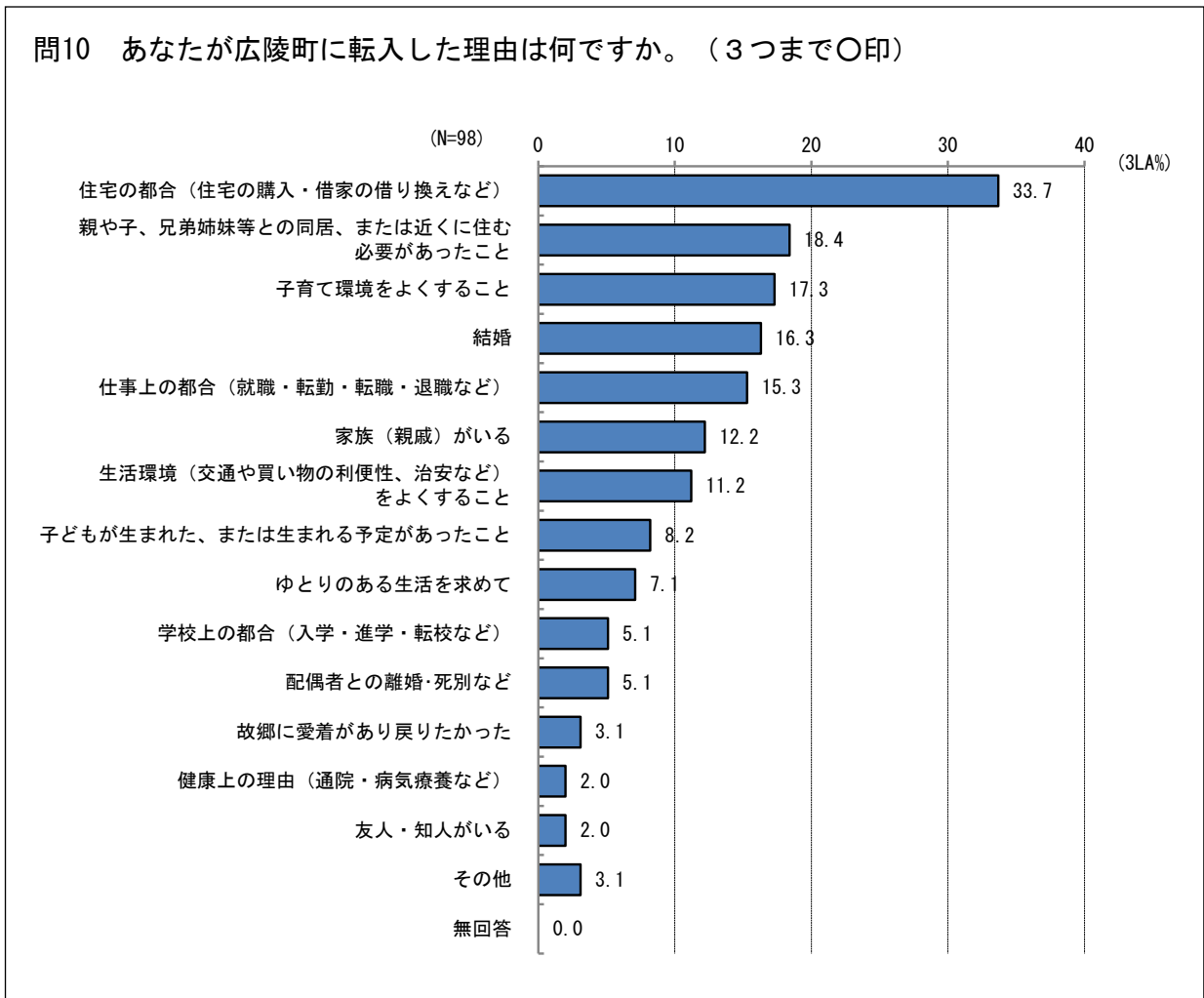
### 〔10〕直前の居住地

問9 あなたが、広陵町に転入する直前に住んでいたのはどちらですか。下の欄に都道府県名と市区町村名をご記入ください。※自由記述回答



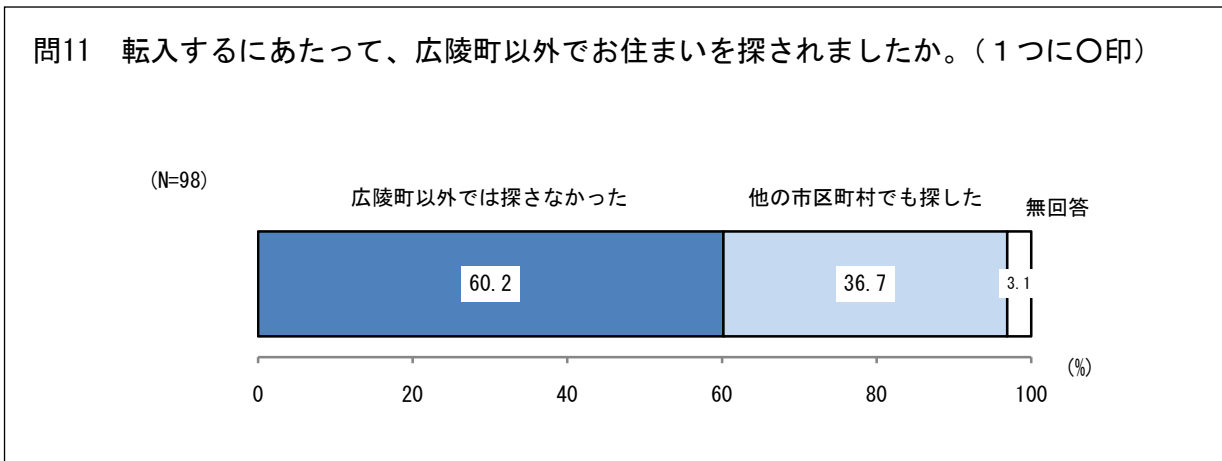
転入直前の居住地は、「奈良県（香芝市・橿原市・大和高田市を除く）」が 29.5%と最も多く、次いで、「大阪圏（奈良県を除く）」が 20.0%となっている。

〔11〕 転入の理由



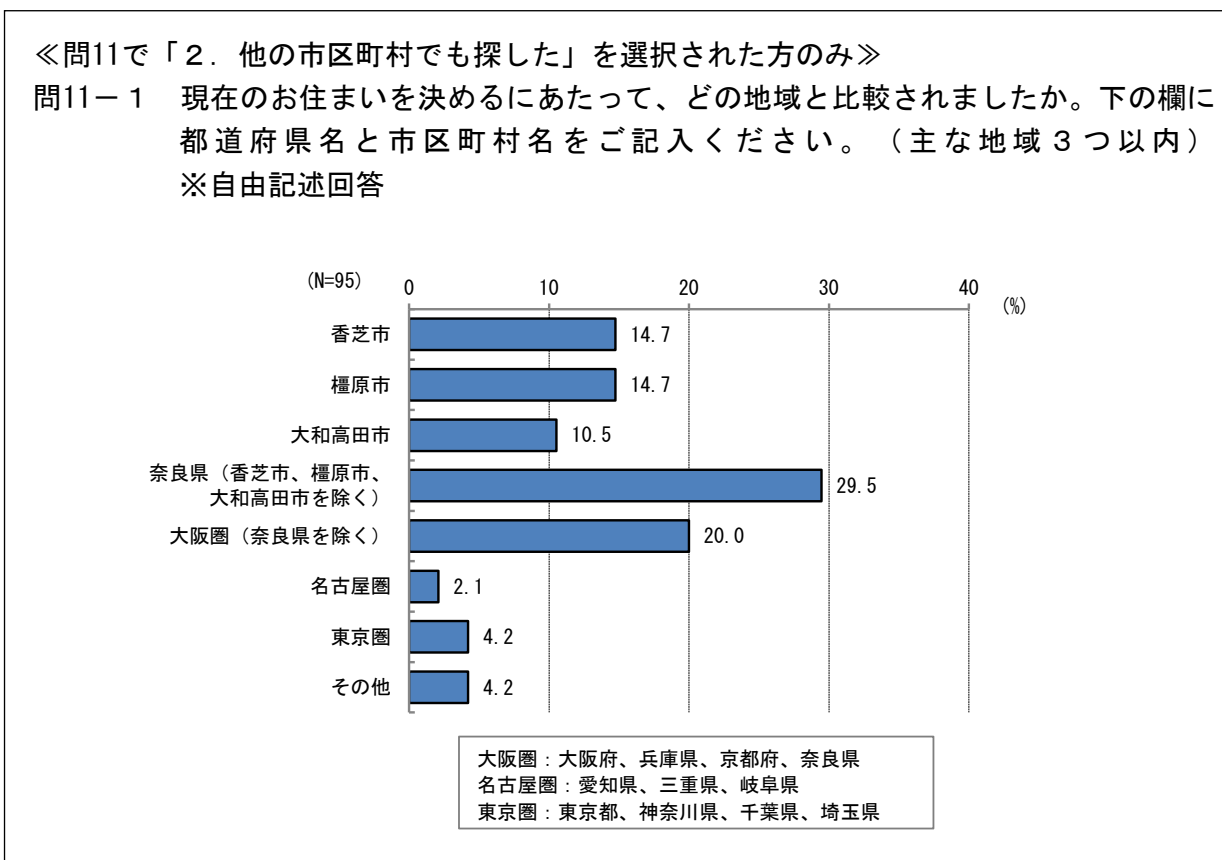
転入の理由は、「住宅の都合（住宅の購入・借家の借り換えなど）」が 33.7%と最も多く、次いで、「親や子、兄弟姉妹等との同居、または近くに住む必要があったこと」が 18.4%、「子育て環境をよくすること」が 17.3%、「結婚」が 16.3%、「仕事上の都合（就職・転勤・転職・退職など）」が 15.3%となっている。

〔12〕 転入するにあたって、広陵町以外に住まいを探したか



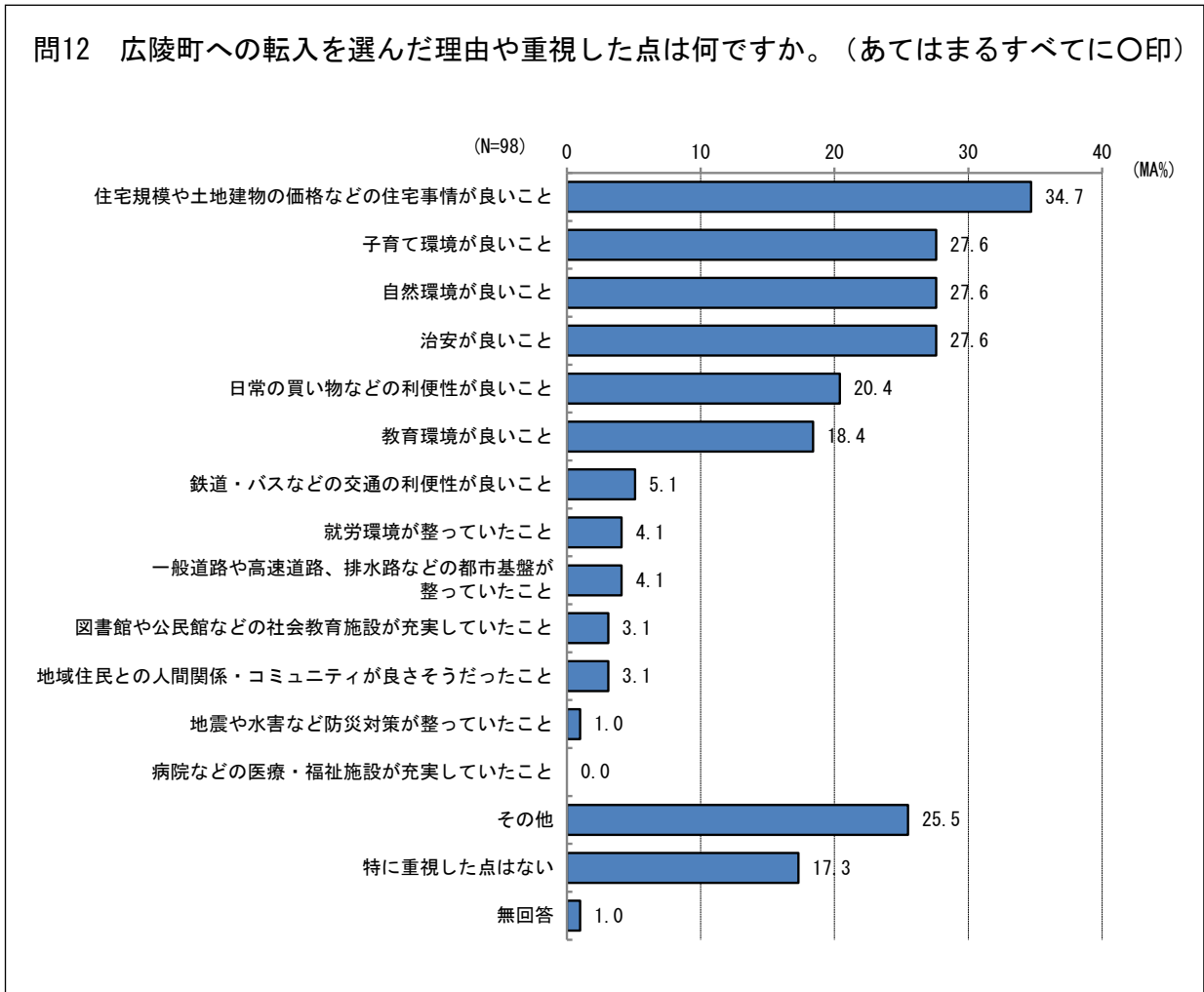
転入するにあたって、広陵町以外に住まいを探したかは、「広陵町以外では探さなかった」が60.2%、「他の市区町村でも探した」が36.7%となっている。

〔13〕 比較した地域



転入するにあたって、広陵町以外に住まいを探したと回答された方に、どの地域と比較したかを尋ねたところ、「奈良県 (香芝市・橿原市・大和高田市を除く)」が45.2%と最も多く、次いで、「香芝市」が35.5%となっている。

〔14〕 広陵町への転入を選んだ理由

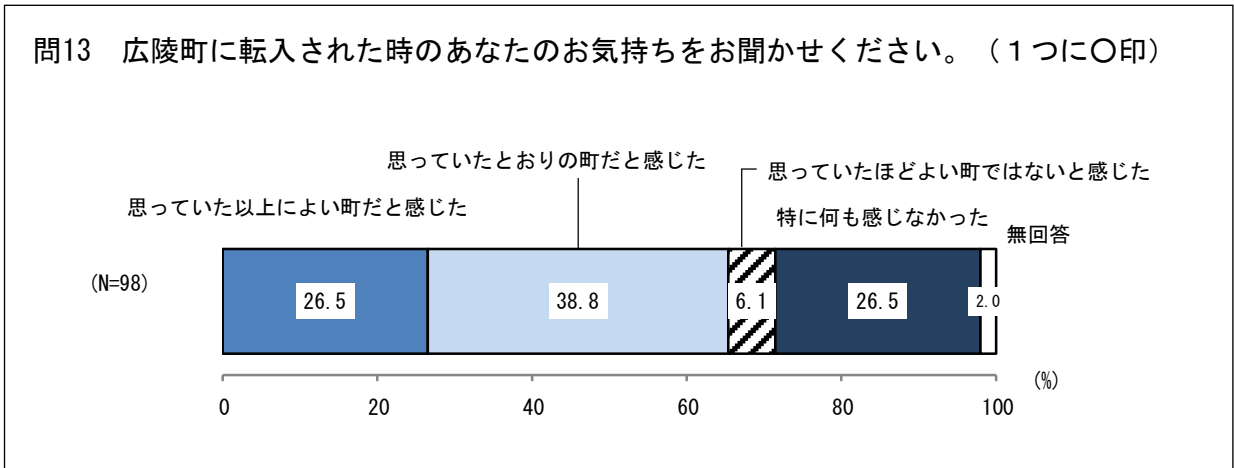


広陵町に転入した理由は、「住宅規模や土地建物の価格などの住宅事情が良いこと」が 34.7% と最も多く、次いで、「子育て環境が良いこと」、「自然環境が良いこと」、「治安が良いこと」が共に 27.6%、「日常の買い物などの利便性が良いこと」が 20.4%、「教育環境が良いこと」が 18.4%となっている。



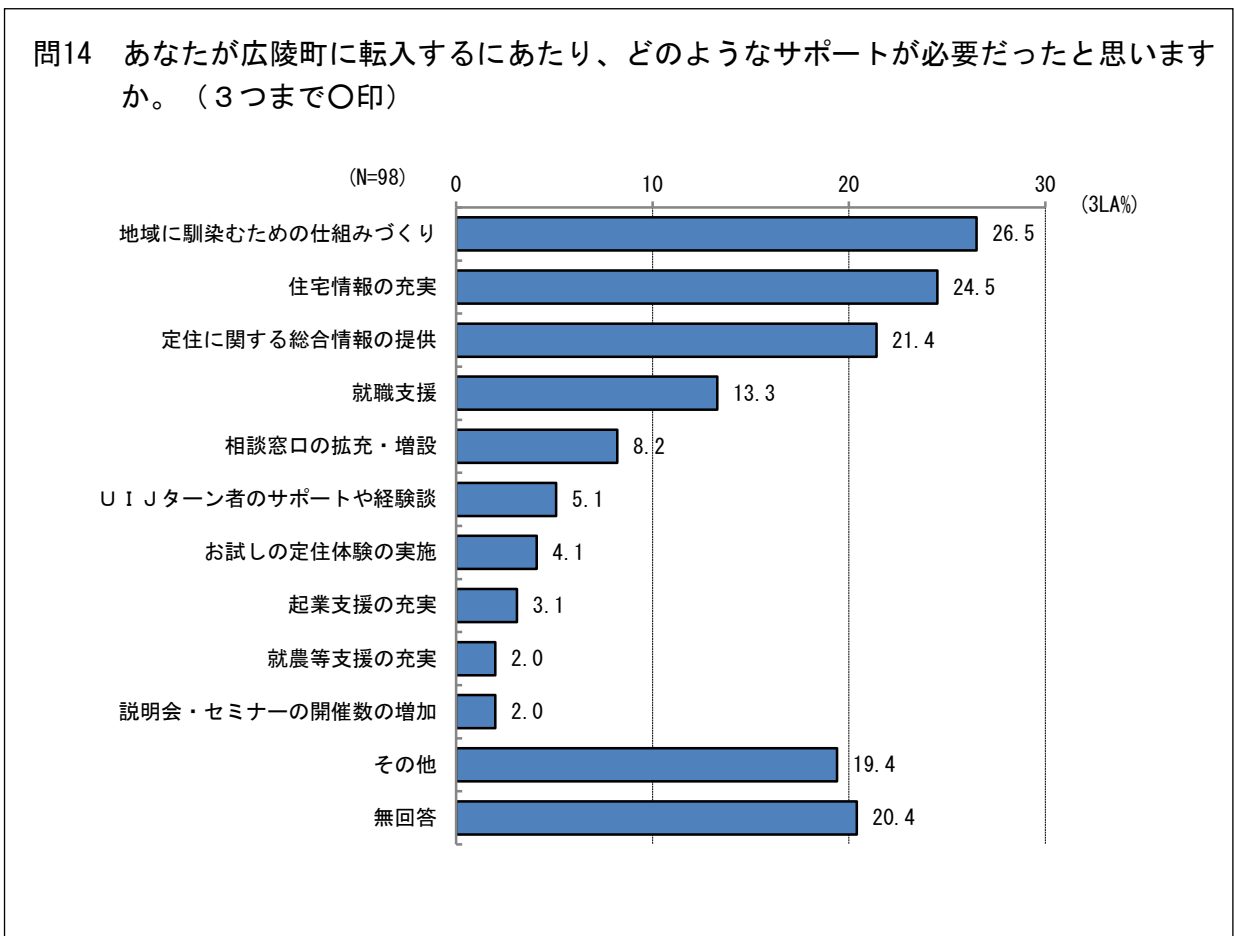
Ⅱ－３． 転入者向けアンケート

〔15〕 転入した時の気持ち



転入した時の気持ちは、「思っていた以上にいい町だと感じた」が26.5%、「思っていたとおりの町だと感じた」が38.8%、「思っていたほどいい町ではないと感じた」が6.1%、「特に何も感じなかった」が26.5%となっている。

〔16〕 転入する際に必要だったと思うサポート

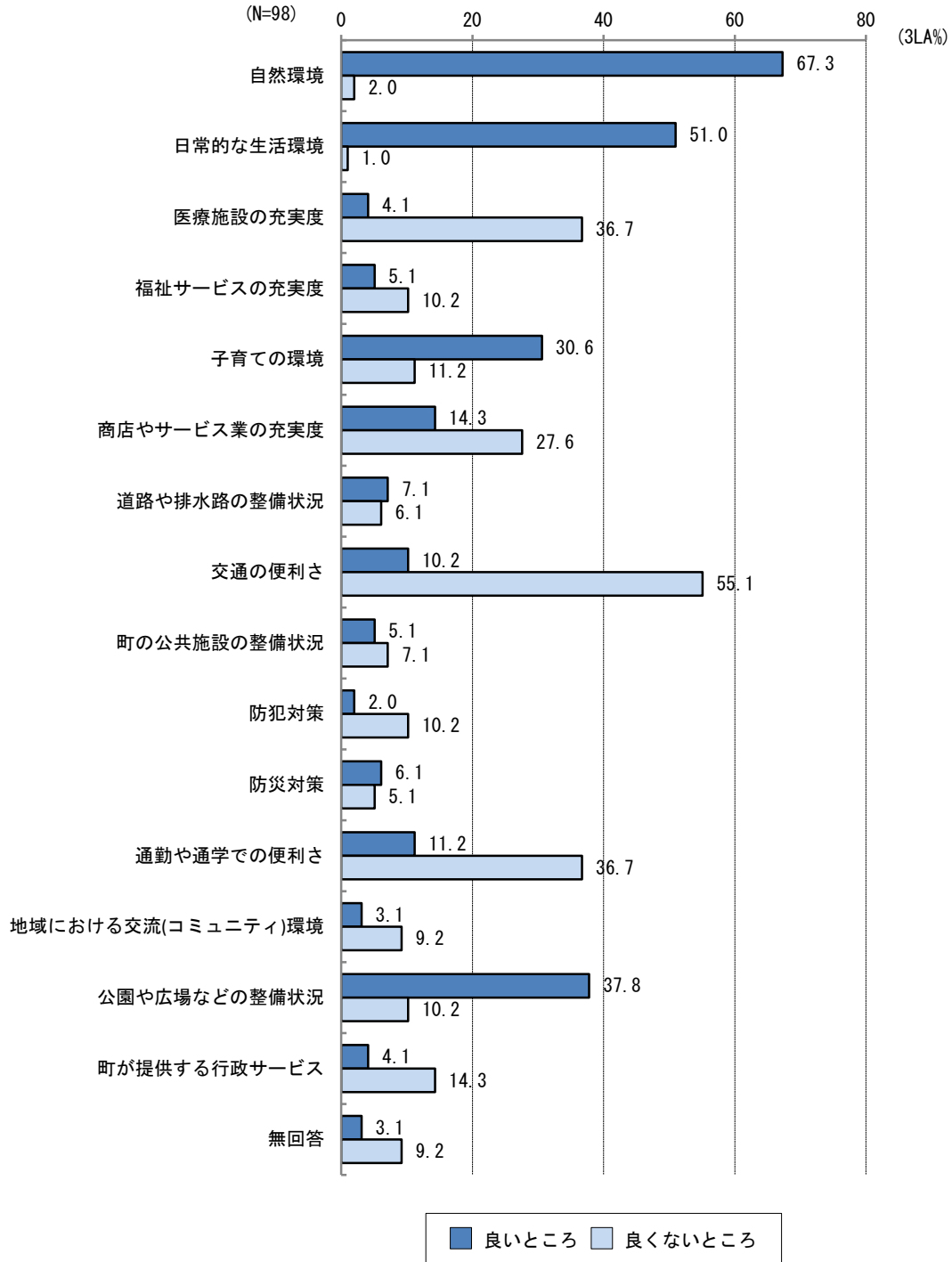


## Ⅱ－３．転入者向けアンケート

転入するにあたり、どのようなサポートが必要だったと思うかは「地域に馴染むための仕組みづくり」が26.5%、「住宅情報の充実」が24.5%、「定住に関する総合情報の提供」が21.4%、「就職支援」が13.3%となっている。

〔17〕 広陵町の良いところ、良くないところ

問15 あなたが思う、広陵町の良いところ、良くないところを、それぞれ3つ選んで、下の回答欄に番号を記入してください。

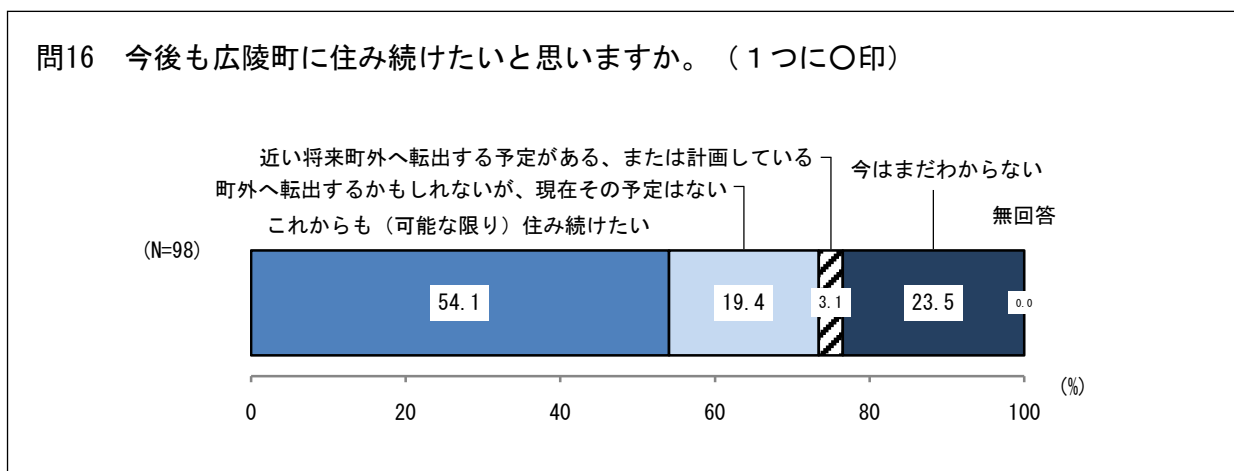


広陵町の良いところは、「自然環境」が 67.3%と最も多く、次いで、「日常的な生活環境」が 51.0%、「公園や広場などの整備状況」が 37.8%、「子育ての環境」が 30.6%、「商店やサービス業の充実度」が 14.3%となっている。

広陵町の良くないところは、「交通の便利さ」が 55.1%と最も多く、次いで、「医療施設の充実度」、「通勤や通学での便利さ」が共に 36.7%、「商店やサービス業の充実度」が 27.6%、「町が提供する行政サービス」が 14.3%、「子育ての環境」が 11.2%となっている。

良いところと良くないところを比較すると、良いところは、「自然環境」(65.3 ポイント差)、「日常的な生活環境」(50.0 ポイント差)、「公園や広場などの整備状況」(27.6 ポイント差)の割合が多く、良くないところは、「交通の便利さ」(44.9 ポイント差)、「医療施設の充実度」(32.6 ポイント差)、「通勤や通学での便利さ」(25.5 ポイント差)の割合が多くなっている。

〔18〕 今後の居留意向



今後も広陵町に住み続けたいと思うかは、「これからも(可能な限り)住み続けたい」が 54.1%、「町外へ転出するかもしれないが、現在その予定はない」が 19.4%、「近い将来町外へ転出する予定がある、または計画している」が 3.1%、「今はまだわからない」が 23.5%となっている。